

未来を拓くひとり学力向上プロジェクト
未来を支える人材育成事業

主体的に学ぶ先生方を紹介します!



本事業は、市町教育委員会、学校長の推薦を受けた研修者自身が研修先を選定し、連続5日間程度の研修を通して教員の指導力向上を図ること、そして、児童生徒の学力向上に資することを目的としています。今号外では、研修者やその取組、2月16日(金)に開催した「令和5年度未来を支える人材育成事業 東部・中部地区授業実践発表会」の様子を紹介します。



【研修テーマ】
○育てたい資質・能力を明確にした授業づくり
○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

- ①研修者
- ②研修先
- ③教科

若桜学園が取り組んでいる「協同学習」を、市全体で推進している大東市の学校を選定。研修期間内に複数校参観。研修前後に自主的に授業公開。校内外への還元や自身の授業改善に向けて学び続けていきたいという強い思いが感じられました。

- ①前田 大輔 教諭
(若桜町立若桜学園中学校)
- ②大阪府大東市立住道中学校他
- ③理科

自主的に参加した研修で出会った先生に学びたいと学校を選定。授業や児童への指導の極意を学んで持ち帰り、即実践へ。教室掲示も含め、授業改善により、児童や周りの先生方の変容も見られたそうです。

- ①神宮 勝之 教諭
(湯梨浜町立湯梨浜中学校)
- ②岡山大学教育学部附属中学校
- ③社会科



- ①梶川 大輔 教諭
(智頭町立智頭小学校)
- ②北海道旭川市立啓明小学校
- ③国語科

自身の課題解決に向けて研修先を選定。深い学びに通じる発問の工夫や生徒の思考を深めるための教員の働きについて学び、つけたい資質・能力を明確にした授業づくりに取り組まれました。

教材と子ども、子ども同士をつなぐ授業を大切にしている先生に学びたいと学校を選定。「教材研究と児童への愛情は比例する」を意識し、つけたい力を明確にした授業を実践。自分のレベルアップに向けて実践を積み重ねておられました。

- ①岸根 佳世 教諭
(岩美町立岩美中学校)
- ②広島県広島市立中広中学校
- ③数学科

- ①中川 裕子 教諭
(八頭町立郡家東小学校)
- ②筑波大学附属小学校
- ③特別の教科 道徳

- ①西谷 美香 教諭
(倉吉市立上灘小学校)
- ②立命館小学校
- ③算数科



数学科の指導教諭がおられ、岩美中学校と同じく「フォーサイト手帳」を活用している学校を選定。「学びたくなる課題設定」や「協働学習」を実践し、そのよさを校内外の先生方に伝えたそうです。ミドルリーダーとして校内還元へという思いが高まっている様子が伺えました。

道徳について学ぶため、学校を選定。児童が心待ちにする道徳の授業の秘密について探り、「児童が問いをもつ授業」「ねらいに迫る問い返し」「思考を整理し深める板書」について自らも実践。授業改善により、児童の発言や振り返りの様子も変化してきたようです。

【管理職及び市町教育委員会の感想】

- ・学びたいという意欲がある教師はどんどん伸びていくと思う。学んできた本人にとっても校内の職員にとっても、とてもよい事業だった。
- ・先進校で学ばれた研修者の生き生きと自信に満ちた姿は感動的だった。
- ・各自が自分の課題に合わせて視察先を選んだからこそ、学びが深く、積極的な研修になっている。
- ・よい実践、実践者に学ぶことで指導者の資質向上につながる。こうした研修が増えることで優れた実践が広がっていくのではないかな。
- ・研修者には、この場にとどめず、さらなるレベルアップと成果還元を期待している。

主体的に学び続けている先生方の姿は素敵!

この学びがどんどん広がっていったね。



授業実践発表会では、「児童や生徒のためにつけたい力を明確にした授業づくりを行いたい」「若い先生方のために自らの学びや実践したことを伝えたい」というミドルリーダーとしての意気込みも感じられました。各学校でも教員育成に向けて授業公開や研修を行うなど工夫されていることでしょう。未来を支える人材育成のために、先生方が自ら課題意識をもって学び続けられるような学校体制づくりの重要性を再確認する機会となりました。